

## 黒川第一発電所における現地調査等の実施について

当社黒川第一発電所は、建設以来長年に亘り地元の方々のご協力を得ながら発電を続け、電力の安定供給に寄与してきましたが、平成28年4月の熊本地震により、甚大な被害を受け、現在も発電できない状況が継続しています。

このような中、当社は、地域の生活再建が早期に進むよう、地元の方々や周辺の復旧・復興事業者の協力を得ながら、灌漑用水等の復旧に取り組んでいます。

今回、再生可能エネルギーの有効利用の観点から、同発電所が安心・安全な設備として復旧可能か否かの検討を行うために、地質ボーリング調査、地形測量等を実施するとともに、社外有識者等をメンバーとする「黒川第一発電所の復旧可能性に関する評価委員会」を設置いたします。

なお、現時点で同発電所の復旧について決定したものでなく、今回の調査結果等を基に、今後、検討することとしています。

### 1 実施内容

- (1) 地質ボーリング調査、地形測量等
- (2) 評価委員会の設置及び同会による復旧可能性の評価  
※メンバーについては別紙のとおり

### 2 実施範囲

- ・南阿蘇村、阿蘇市（黒川第一発電所周辺）  
※詳細は別紙のとおり

### 3 スケジュール

- ・平成30年12月頃から1年程度